

## &lt;全体分析&gt;

試験時間

90 分

## 解答形式

記述式（一部客観式）。

## 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

2025 年度は読解総合問題【Ⅰ】と【Ⅱ】の総語数は 1,640 words だったが、2026 年度は読解総合問題【Ⅰ】と【Ⅱ】の総語数は 1,709 words となり、69 words 増加。問題の難易は「変化なし」となった。

## 出題の特徴や昨年との変更点

（特徴）

- ・読解総合問題 2 題と自由英作文 1 題という出題は昨年と同様である。
- ・英文和訳、英文中埋め込み型の和文英訳、内容説明、自由英作文を中心とする国公立大型の記述式問題と、私立大型の客観式選択問題で構成されている。
- ・英文和訳問題では、英文の正確な構造把握を基盤とした日本語訳が求められている。
- ・【自由英作文】は【読解総合】と融合された形式である。
- ・同じ意味の英文になるように英語で言い換える問題が登場した。
- ・特定のパラグラフの執筆目的を選択させる問題が登場した。
- ・英文の記述を指定された語数で書き換える問題が登場した。

（昨年との変更点）

- ・昨年まで独立して【Ⅲ】として出題されていた【自由英作文】が【Ⅱ】【読解総合】の最後の設問として組み込まれた。ただし、英文との関連はあるものの、英文内容への直接的な言及は求められていない。指定語数は 100 語以上から 80 語程度へと変更された。

## &lt;大問分析&gt;

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
[I]	読解総合	「夜になると共生動物の世界が動き出す」(747 words)	<p>問1 説明問題。（英単語の意味を日本語で説明する問題）</p> <p>問2 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る副詞を選択する問題）</p> <p>問3 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る代名詞を選択する問題）</p> <p>問4 前置詞補充問題。（e）は of も解答となる。</p> <p>問5 和訳問題。（was originally planned to bring ... into ~/a refuge for wildlife などの訳出に注意）</p> <p>問6 説明問題。（名称の由来を説明する問題）</p> <p>問7 条件付き和訳問題。（this の意味を明らかにして和訳する。wondering how S +V<sub>1</sub>... and V<sub>2</sub>...の構造把握。show their side of the story の訳出に注意）</p> <p>問8 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る副詞（句）を選択する問題）</p> <p>問9 説明問題。（「理由」を日本語で説明する問題）</p> <p>問10 英文表現言い換え問題。（gone を使わず同じ意味になるように英語で言い換える問題）</p> <p>問11 客観式問題。（文脈を理解して、当該のパラグラフを書いた執筆目的を表している英語を選択する問題）</p> <p>問12 英文記述書き換え問題。（文脈を理解して、同じ意味になるように英語で表現する問題）</p> <p>問13 客観式内容趣旨一致問題。（文脈を理解して、その趣旨を表す英文を選択する問題）</p> <p>問14 条件付き和訳問題。（here の意味を明らかにして和訳する問題）</p> <p>問15 英語説明問題。（筆者の懸念と主張を 40 語以内の英語で説明する問題）</p> <p>【出典】Allison C. Meier, “Night of the Living Synanthropes.” Bloomberg. Com, 24 September 2018.</p>	やや難
[II]	読解総合	「なぜ、いつも忙しいと感じるのか」(962 words)	<p>Q1 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英文を選択する問題）</p> <p>Q2 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英文を選択する問題）</p> <p>Q3 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英文を選択する問題）</p> <p>Q4 英訳問題。（文脈に注意を払い英文を作成する問題）</p> <p>Q5 和訳問題。（In former eras, dominated by ... / physically punishing / obeyed certain limits などの訳出に注意）</p> <p>Q6 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英文を選択する問題）</p> <p>Q7 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る副詞を選択する問題）</p>	標準

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
[Ⅱ]	読解総合	「なぜ、いつも忙しいと感じるのか」(962 words)	<p>Q8 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英文を選択する問題）</p> <p>Q9 客観式問題。（文脈を理解して、筆者の意図していることを表している英文を選択する問題）</p> <p>Q10 和訳問題。（than if we weren't so rushed などの訳出に注意）</p> <p>Q11 空所語句補充問題（文脈を理解して、英語の動詞を必要に応じて語形を変えて補充する問題）</p> <p>Q12 客観式問題。（文脈を理解して、本文の空所に名詞を補充する問題）</p> <p>Q13 説明問題。（下線部の内容について日本語で説明する問題。過去と現在の対比を読み取る。）</p> <p>Q14 客観式問題。（文脈を理解して、空所に入る英語を選択する問題）</p> <p>Q15 英訳問題。</p> <p>Q16 英語説明問題。（本文の内容を 20 語未満の英語で説明する問題）</p> <p>Q17 自由英作文。（「多忙な時の対処法」について 80 語程度の英語で記述。本文の内容に言及する必要はないという文言が英語で記されている）</p> <p>【出典】 Oliver Burkeman, BBC, 12 September 2016. “Why you feel busy all the time (when you're actually not)”</p>	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

今年度は大問構成が2題となり、【自由英作文】が[Ⅱ]【読解総合】の最後に組み込まれる形へと変更されました。しかし、下線部和訳・英訳・内容説明・自由英作文といった「記述力を測る設問」が中心である点は変わりません。むしろ今年は、英文で説明させる問題や、英文表現を英語で書き換えさせる問題が登場し、英文内容を深く理解したうえで、それを英語で適切に表現できるかがより強く問われています。

英文を多く読むことはもちろん大切ですが、それ以上に「英文構造を正確に把握する力」が合否を左右します。普段から「大意だけを追う読み方」ではなく、細部まで丁寧に読み取る姿勢を身につけてください。また、基本的な文法、前置詞・副詞・動詞の語形といった語法を、文脈の中で正しく判断できるかも重要です。

また、自由英作文が読解問題の一部として組み込まれたことで、英文を読んだ後に80～100語で内容をまとめたり、関連するテーマについて自分の意見を書いたりする練習は欠かせません。状況説明、個人的体験、好み、社会問題への意見など、多様なテーマで100語程度の英文を書くトレーニングを積極的に行いましょう。書く力は一朝一夕では身につけません。日々の積み重ねが確実に得点力につながります。

ここ数年、読解テーマは医学・医療に限らず、人文・社会など幅広い分野に及んでいます。本学部の過去問に加え、国公立大学の記述中心の読解問題にも取り組むことで、より高い読解力と記述力を養うことができます。日本語・英語ともに記述量が多い試験ですから、実際に手を動かして解答を作成する実戦演習が、最終的に合否を大きく左右すると言えるでしょう。